

# 成膜、打ち込み同時に

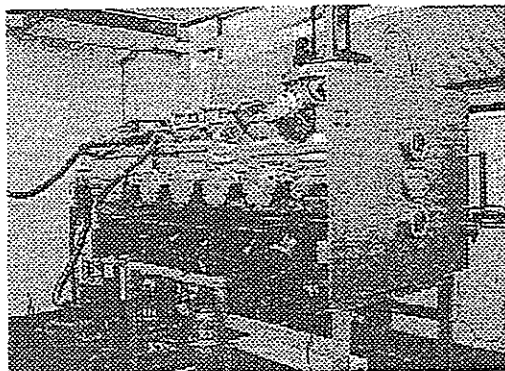
金属表面コーティング装置

## ナノテックが開発

【浦和】ナノテック(埼玉県南埼玉郡白岡町西8の19の8、中森秀樹社長、0480・93・2911)は、ダイヤモンドライク・

カーボン(DLC)を成膜すると同時に、深さ数ミクロンに同膜を打ち込むことができる業界初の金属表面コーティング装置「NANOC

00x2000」が開発された。またコーティングエリアが直径600ミクロン、高さ500ミクロンの「DASH1000」は価格1億5000万円。装置販売のほか、同装置による機械部品も含めた各種母材へのコーティング加工も受託する。



OA2500」写真を開発した。従来の直流電圧に代えて、パルス電圧を加えることで、母材へのイオン打ち込みを可能にした。NANOCOAT 2500の価格は2億5000万円、DLCコーティングエリアは400x4

同装置では長さ2ミクロンにわたって膜厚が均等なコーティングができ、さらに膜の硬度が1000-3000HVの間で変えられるため、母材の硬度や用途に応じた成膜ができるのも特徴だ。

一方、同社ではDLC膜の再コーティング用に、今回開発したコーティング装置と同じ大きさの母材が処理できるDLC膜剥離(はくり)装置も10月に発売する。